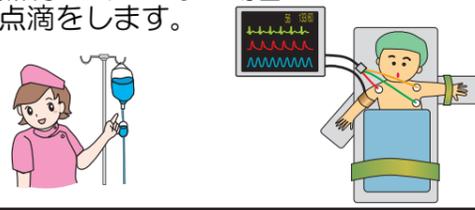
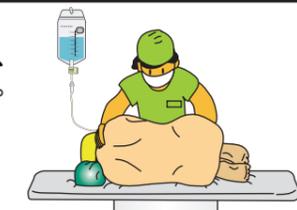


# 患者用クリニカルパス (全身麻酔手術用)

	手術室準備室(入り口)	手術室入室～麻酔まで	硬膜外麻酔 有・無	麻酔	手術	手術終了～退室まで
手術の流れ	<p>受け持ちの看護師が出迎え、付き添って手術が行われる部屋まで御案内いたします。</p> <p>麻酔科医師は手術が行われる部屋で待機しています。(部屋の前で出迎えます。) 予定麻酔科医師は _____ です。</p> <p>手術の進行等により麻酔担当医の変更の可能性もあります。</p> 	<p>手術の部屋に入る前に麻酔科医師・手術室看護師病棟看護師の立ち会いの下お名前とネームバンドの確認、手術部位の確認を行います。</p> 	<p>痛みのコントロールをするために背中から細い管を入れます。</p> <p>※手術や病状により入れないこともあります。</p> 	<p>全身麻酔を開始します。</p> 	<p>準備が出来たら手術を始めます。</p> 	<p>麻酔を覚まし、病棟へ帰る準備をします。</p> 
処置	<p>お部屋に御案内する際、お名前の確認を行います。</p> 	<p>お部屋に入ったら、帽子をかぶっていただきます。心電図、血圧計、酸素のモニターをつけます。</p> <p>病棟から点滴をされている方は点滴の異常がないことを確認させていただきます。</p> <p>点滴が入っていない場合は点滴をします。</p> 	<p>背中を2回消毒します。</p> <p>局所麻酔をします。</p> <p>局所麻酔の後、細い管を挿入します。</p> 	<p>酸素のマスクをつけます。</p> <p>眠っている間の呼吸を助けるために口の中にチューブを入れます。</p> 	<p>麻酔がかかってから尿の管を入れます。 ※手術時間が短い場合は、入れないこともあります。 ※麻酔がかかっているため、痛みはありません。</p> <p>下肢静脈血栓、肺塞栓症予防のため、専用の器械で両足をマッサージします。 ※手術や病状により行なわないこともあります。</p> 	<p>消毒液を拭いて、創にガーゼを当て、絆創膏でとめます。</p> <p>口にチューブが入っているうちは声は出ません。目が覚めてから口のチューブを抜きます。</p> <p>医師や看護師が大きな声で呼びかけます。手をギュッと握ってもらったり、深呼吸や目を開けてもらうことで麻酔の覚め具合を確認します。</p> <p>心電図、血圧計、酸素のモニターをはずします。</p>
姿勢	<p>歩行が可能な方は、歩いて入室していただきます。歩行できない方は、専用のベッド(ストレッチャー)もしくは車椅子で入室します。 痛いところやしびれるところがあれば、お知らせください。</p>	<p>お部屋に入ったら、手術用ベッドに移動します。看護師が介助いたしますので、指示に従ってください。</p> 	<p>ベッドの上で横向きになり、丸くなります。</p>  <p>硬膜外麻酔が終われば仰向けになります</p>	<p>仰向けです。</p>	<p>手術によって違います。(無理のない姿勢を保ちます)</p>	<p>仰向けです。</p>
意識	<p>お話はできます。</p>	<p>お話はできます。</p>	<p>お話はできます。</p>	<p>徐々に眠くなります。</p>	<p>眠っています</p> 	<p>少しずつ意識が戻ってきます。</p>
その他 注意点	<p>髪の毛の長い方はゴムでまとめておいて下さい。マニキュア・ペディキュアは、はがしておいて下さい。コンタクトレンズ、入れ歯、ピアス・指輪などの貴金属類も外しておいて下さい。眼鏡・補聴器は持ち込み可能です。(保管ケースを御持参下さい) その他についてはご相談ください。</p> 	<p>受け持ち看護師がそばにいます。</p> <p>寒い、痛いなど不都合なことがありましたら遠慮せずにお知らせください。</p> <p>相談してね</p> 	<p>受け持ち看護師がそばにいます。痛みやしびれがある場合は遠慮せず、言葉で知らせてください。</p> <p>管を入れるときは動かないようにご協力ください。</p> <p>頑張ってね</p> 	<p>力を抜いてゆっくりと呼吸をしてください。</p> <p>力を抜いてね</p> 	<p>帰る時には、尿の管が入っていることがあります。</p> <p>痛みなどがある場合は我慢せずに、お知らせください。</p> <p>ベッドに移り、病棟かICUに帰ります。</p> 	